



対話と思索で未来の経営を構想する

第65回 軽井沢トップ・マネジメント・セミナー

「人と志が組織を強くする ～持続的成長を実現するために～」

日時 2022年7月13日(水)10:30 ▶ 7月14日(木)15:30

オプションプログラム(スポーツコミュニケーション)
2022年7月14日(木)16:00 ▶ 15日(金)17:00

参加者 企業・団体のトップマネジメント及び経営幹部の方

会場 軽井沢プリンスホテル ウエスト



公益財団法人 日本生産性本部

年に一度、都心の喧騒を離れた環境で、自身の経営のあり方に向き合う思索の時間。

日本初の経営者セミナーとして、常に高度な視点から「企業経営のあり方」を牽引し続けてきた「軽井沢トップ・マネジメント・セミナー」。

テクノロジーの進化や労働人口減少、価値観の多様化等、ビジネス環境の変化が急速に進む昨今において「人（従業員）」一人ひとりの潜在能力を最大限引き出し、生産性を高めて稼ぐ力を向上させることが今まで以上に重要になっています。

また、世界に目を向けると国家間の紛争による地政学リスクの高まりや、不平等の是正に加え、気候変動の影響などSDGsとしても掲げられている様々な社会課題が顕在化しています。

そのような中、各企業の“何のために存在するのか” “どのように社会の課題解決に貢献するのか”といった「志（=存在意義）」が問い直されております。

こうした問題意識のもと、本セミナーでは「人」と「志」の重要性について考察することで、日本企業、そして日本社会全体の持続的な成長・発展に繋げてまいりたいと考えております。

■ 卓越した企業経営者／経営に向き合える環境

総合コーディネーターである富山 和彦 氏（経営共創基盤 IGPIグループ会長）をはじめ、卓越した企業経営者・有識者を講師として招聘。都会の喧騒を離れた環境で最新の経営トレンドやベストプラクティスを学び、経営のあり方や経営戦略の方向性を構想することができます。

■ オンラインセミナーでは得られない講師・参加者同士の交流を深めるプログラム構成

今回から全セッションを円卓で実施するなど、参加者同士のコミュニケーションを促進いたします。また、各分科会のセッションはテーマ毎のグループに分かれ、講演を聞くだけでなく、講師やモデレーターの進行のもと、同じテーブルの参加者とテーマについて情報交換をする時間を設けます。他社の事例や意見からの気づきや学びを得ながら、人脈も広げていただけます。

■ 非日常で経営幹部同士の人脈形成を実現するオプションプログラム

通常プログラムの終了後、ゴルフを通じたスポーツコミュニケーションを行うオプションプログラム（別途参加費）を実施いたします。（有識者講演、参加者同士での夕食会、「軽井沢72ゴルフ」でのプレイ等）経営幹部同士のコミュニケーションを通じて人脈を形成し、今後のビジネスに繋げていただけます。

タイムスケジュール

1日目 / 7月13日(水)

9:30~10:30	開場	
10:30~10:35	開会挨拶	日本生産性本部 会長 茂木 友三郎
10:35~11:00	問題提起	経営共創基盤 IGPIグループ会長 富山 和彦氏
11:00~12:00	基調講演 「不確実な時代を切り拓くこれからの企業経営」 花王 取締役会長 澤田 道隆氏	
12:00~13:00	休憩・昼食	
13:00~16:00	分科会 A 「イノベーション創発のためのリーダーシップ」	分科会 B 「デジタル時代に社会変革を起こすための経営者の役割」
	ユーグレナ 代表取締役社長 出雲 充氏	味の素 取締役執行役 福士 博司氏
	フォース・マーケティングアンドマネージメント 代表取締役社長(アスクル創業者) 岩田 彰一郎氏	陣屋 代表取締役 女将 陣屋コネク 代表取締役CEO 宮崎 知子氏
	法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授 米倉 誠一郎氏	経営共創基盤 共同経営者 マネージングディレクター 望月 愛子氏
16:00~17:00	休憩・チェックイン	
17:00~18:30	パネルセッション 「次代を担う経営者の挑戦」	
	ビビッドガーデン 代表取締役社長 秋元 里奈氏	メドメイン 代表取締役CEO 飯塚 統氏
	経営共創基盤 IGPIグループ会長 富山 和彦氏	
18:30~	懇親会	

2日目 / 7月14日(木)

早朝プログラム (バードウォッチング/マインドフルネス)

9:00~9:30	開場	
9:30~12:30	分科会 C 「変革の核となる経営トップのあり方」	分科会 D 「強い経営者・マネジメントチームをつくる」
	昭和電線ホールディングス 代表取締役社長 グループCEO 長谷川 隆代氏	TDK 代表取締役会長 石黒 成直氏
	日本レーザー 代表取締役会長 近藤 宣之氏	みちのりホールディングス 代表取締役グループ CEO 松本 順氏
	学習院大学 名誉教授 内野 崇氏	ボードアドバイザーズ 代表取締役社長 佃 秀昭氏
12:30~13:30	休憩・昼食	
13:30~15:00	特別講演 「組織を動かすリーダーの覚悟と志」 福岡ソフトバンクホークス 前監督 工藤 公康氏	
	15:10~15:30 総括	
15:30	通常プログラム終了・解散	

オプションプログラム (スポーツコミュニケーション)

16:00~17:30	講話 「平和とスポーツ」 ミズノ 相談役会長 水野 正人氏
	18:30~ 夕食懇親会

7月15日(金) 8:00 ~ 17:00 ゴルフラウンド (軽井沢72ゴルフ)

※スケジュールや各セッションのテーマおよび登壇者は変更となる場合がございます。

※各分科会ならびに早朝プログラムの選択は、お申込みいただいた後6月上旬頃にお送りする「参加のしおり」にて希望をお伺いいたします。

Program

統一テーマ | 人と志が組織を強くする～持続的成長を実現するために～

総合コーディネーター



株式会社経営共創基盤 IGPIグループ会長 富山 和彦氏

ボストンコンサルティンググループ、コーポレートディレクション代表取締役を経て、2003年に産業再生機構設立時に参画しCOOに就任。解散後、株式会社経営共創基盤(IGPI)を設立。2020年10月より現職。2020年日本共創プラットフォーム(JPIX)設立、代表取締役社長就任。パナソニック社外取締役。経済同友会政策審議会委員長。内閣官房新しい資本主義実現会議有識者構成員他。

1日目 7月13日(水)

- 開会挨拶 公益財団法人日本生産性本部 会長 茂木 友三郎
- 問題提起 株式会社経営共創基盤 IGPIグループ会長 富山 和彦氏
- 基調講演「不確実な時代を切り拓くこれからの企業経営」

先行きを見通すことが極めて困難な不確実な時代においては、経営トップが「あるべき姿」や「志(社会での存在意義)」を明確にし、リーダーシップを発揮することが求められています。そうした中で、経営者はどのような未来を描き、組織を変えていくべきかについてお話いただきます。



花王株式会社 取締役会長 澤田 道隆氏

1981年大阪大学大学院工学研究科プロセス工学専攻修士(博士前期課程修了)。同年、花王石鹼株式会社(現花王株式会社)に入社。素材開発研究所室長を経て、2003年サニタリー研究所長に着任。2006年執行役員、2008年取締役就任。2012年6月28日代表取締役社長執行役員に就任。2021年1月1日より現職。

分科会 A 「イノベーション創発のためのリーダーシップ ～社会課題解決とベンチャーとの共創」

日本企業が持続的に成長を実現していくためには、社会課題解決など高い志を掲げ、社内外の多様な人材やベンチャーをはじめとした外部リソースも活用し、解決に向けて共創し取り組んでいく必要があります。取組み事例を伺い、求められる既存企業の役割について意見を交わします。



ゲストスピーカー 出雲 充氏

株式会社ユグレナ 代表取締役社長

駒場東邦中・高等学校、東京大学農学部卒業後、2002年東京三菱銀行入行。2005年株式会社ユグレナを創業、代表取締役社長就任。世界初の微細藻ミドリムシ(学名:ユグレナ)食用屋外大量培養に成功。世界経済フォーラム(ダボス会議)ヤンググローバルリーダー、第一回日本ベンチャー大賞「内閣総理大臣賞」受賞。



ゲストスピーカー 岩田 彰一郎氏

株式会社フォース・マーケティングアンドマネージメント 代表取締役社長(アスクル創業者)

1973年ライオン油脂(株)(現 ライオン(株))に入社。1986年プラス(株)に入社し、1992年にアスクル事業推進室 室長に就任。1997年にはアスクル(株)設立とともに代表取締役社長に就任し、その後JASDAQ、東証一部への上場を果たし、年商4000億円を超える企業へと発展させる。2019年アスクル社長を退任。同年、(株)フォース・マーケティングアンドマネージメントを設立し、現職。大手企業のイノベーションの推進及びベンチャー企業の育成に取り組む。



モデレーター 米倉 誠一郎氏

法政大学大学院 教授/一橋大学 名誉教授

一般社団法人Creative Response Social Innovation School 学長

専攻はイノベーションを核とした経営戦略と組織の歴史的研究。学外活動では、ソニー戦略室長、プレトリア大学日本研究センター所長などを経て、『一橋ビジネスレビュー』編集委員長を兼務。現在、複数企業の社外取締役、NPC法人のアドバイザー・理事などを務める一方、いくつかのベンチャー企業の顧問・アドバイザーも務めている。

分科会 B「デジタル時代に社会変革を起こすための経営者の役割」

日本企業が持続的に成長を実現していくためには、デジタル技術を活用し、ビジネスモデルとともに、業務そのものや組織、風土等を変革することが求められています。取組み事例を伺い、求められる経営者の役割について考えてまいります。



ゲストスピーカー 福士 博司 氏

味の素株式会社 取締役 執行役(2022年6月 特別顧問就任予定)

1984年味の素(株)入社。アミノ酸、ヘルスケアを主体としたグローバル事業を経験。

2019年から代表取締役副社長CDOとして全社のデジタルトランスフォーメーションを実行。2022年3月退任し、6月特別顧問に就任予定。その他現職:アドミレックス(株)を創業しCEO就任予定、(株)マーケティングアプリケーションズ社外取締役、(株)明電舎、(株)メンバーズ顧問など。



ゲストスピーカー 宮崎 知子 氏

株式会社陣屋 代表取締役 女将/株式会社陣屋コネクト 代表取締役CEO

大学卒業後メーカー系リース会社にて営業職に7年間従事し、結婚を機に退職。サービス業未経験のまま2人目の出産2ヶ月後の2009年10月に、倒産の危機にあった鶴巻温泉元湯陣屋の女将に就任。夫・宮崎富夫氏とともに業務改善のため、クラウド型ホテルシステム「陣屋コネクト」を独自開発し、ICTを活用したデータ分析とおもてなし向上を実現。



モデレーター 望月 愛子 氏

株式会社経営共創基盤 共同経営者 マネージングディレクター

中央青山監査法人にて、監査業務に従事。IGPI参画後は、大手企業の事業ポートフォリオ見直し及び新規事業創出に関わる戦略立案～実行サポート、デューデリジェンス、M&Aアドバイザー等に携わる。近年はCVCを含むオープンイノベーションに関わる組織設計やDXを通じた組織改革支援を数多く手掛けるとともに、幅広い領域のベンチャーを立ち上げ時期からEXITまで支援。

■ パネルセッション「次代を担う経営者の挑戦」

昨今の企業経営において、ミレニアル世代やZ世代と呼ばれる年代の起業家が社会課題の解決や新しい事業の創出を先導し、変革をもたらしています。新しい時代に選ばれ生き残る企業となるために、次代をリードする若き経営者と共にこれからの経営について思索します。



ゲストスピーカー 秋元 里奈 氏

株式会社ビビッドガーデン 代表取締役社長

大学卒業後2013年に株式会社ディー・エヌ・エーへ新卒入社。webサービスのディレクターなどを経験し、2016年に一次産業分野の課題に直面し株式会社ビビッドガーデンを創業。2017年8月にこだわり生産者から食材が購入できるオンライン直売所「食ベチョク」を正式リリース。2021年2月に初著書『365日 #Tシャツ起業家』を出版。



ゲストスピーカー 飯塚 統 氏

メドメイン株式会社 代表取締役CEO

1991年生まれ・東京都出身。AI・Webを中心としたソフトウェア開発経験を活かし、九州大学医学部在学中にシリコンバレーのピッチコンテスト優勝を経て、ヘルステックのスタートアップであるメドメイン株式会社を2018年に設立。受賞実績:Forbes 30 Under 30 Asia、九州大学総長賞等。

モデレーター 富山 和彦 氏

株式会社経営共創基盤 IGPIグループ会長

分科会 C「変革の核となる経営トップのあり方 ～未来を拓くビジョンとリーダーシップ」

企業が持続的な成長を実現させるために、経営の変化を捉え、企業変革を進めていく必要があります。その時に必要となるのは大胆に未来を描くビジョン構想力とリーダーシップです。変革を導く経営リーダーの条件について、考えてまいります。



ゲストスピーカー 長谷川 隆代 氏

昭和電線ホールディングス株式会社 代表取締役社長・取締役会議長 グループCEO

1984年新潟大学大学院修了、1996年5月東京大学博士(工学)学位取得。1984年昭和電線電纜(現昭和電線ホールディングス)入社、2006年昭和電線ケーブルシステム取締役技術開発センター長、10年同社常務取締役兼昭和電線ホールディングス執行役員、13年昭和電線ホールディングス取締役、18年に取締役社長、19年に代表取締役社長グループCEOに就任し、20年より現職。



ゲストスピーカー 近藤 宣之 氏

株式会社日本レーザー 代表取締役会長

慶應義塾大学工学部卒業後、日本電子(株)入社。1989年同社取締役米国支配人兼任。1994年子会社の(株)日本レーザー代表取締役社長に就任。2018年より現職。人を大切にしながら利益を上げる改革で、就任1年目から現在まで27年連続黒字、10年以上離職率ほぼゼロに導く。2007年役員・正社員・嘱託職員が株主となる日本初の「MEBO」を実施。日本では例のないCo-owned Businessとなる。



モデレーター 内野 崇 氏

学習院大学 名誉教授

1977年横浜国立大学経営学部卒業、1982年東京大学大学院経済学研究科博士課程単位取得。同年学習院大学経済学部専任講師。84年助教授、89年より現職。その間に、国内企業を中心に数多くのコンサルティング、研修・教育に従事。学校法人学習院企画部長として学校改革にも携わる。一般社団法人経営研究所代表理事。

分科会 D「強い経営者・マネジメントチームをつくる ～攻めのガバナンスの実現に向けて」

経営環境の激変により経営者・経営陣が向き合うべきテーマが多岐にわたると同時に、あらゆるステークホルダーを満足させる経営の舵取りが求められています。厳しい環境を乗り越えるための強靱な経営陣・マネジメントチームをいかに作りあげるかについて意見を交わします。



ゲストスピーカー 石黒 成直 氏

TDK株式会社 代表取締役会長

1957年東京都生まれ。北海道大学理学部中退後、82年東京電気化学工業(現TDK)入社。2002年レコーディングメディア&ソリューションズビジネスグループ欧州営業部長兼経営企画担当部長、14年執行役員、15年常務執行役員磁気ヘッド&センサビジネスカンパニーCEO。欧州などでの駐在期間が長く、海外市場を肌で知る。16年に代表取締役社長、22年から現職。



ゲストスピーカー 松本 順 氏

株式会社みちのりホールディングス 代表取締役グループCEO

仙台市出身。上智大学法学部卒業後、GM系投資会社などを経て、2003年産業再生機構執行役員に就任。九州産業交通、関東自動車などの事業再生案件を統括。機構解散後、2007年に経営共創基盤(IGPI)の設立に参画し、交通・観光事業の経営改革や再生を行うプロジェクトに関与。2009年IGPI傘下に設立したみちのりホールディングス代表取締役に就任。



モデレーター 佃 秀昭 氏

株式会社ボードアドバイザーズ 代表取締役社長

東京大学法学部卒業、MITスローン経営大学院修了。1986年三和銀行(現三菱UFJ銀行)に入行。1999年よりマクラガンパートナーズにて人事コンサルティングに従事したのち、2000年スイス本社のエゴンゼンダーにて従事し、日本法人社長、グローバル経営会議メンバーを歴任。2019年3月株式会社 企業統治推進機構(現 株式会社ボードアドバイザーズ)の事業開始。

■ 特別講演「組織を動かすリーダーの覚悟と志」

一人ひとりが組織全体のために貢献し、組織全体も個人のパフォーマンスの最大化をサポートする。こうした相互の信頼関係を構築していく為に、トップリーダーはどのようなアクションを取るべきでしょうか。厳しい環境下で持続的成長を実現する強い組織を創るために、人と組織のあり方を考えてまいります。



福岡ソフトバンクホークス 前監督 工藤 公康 氏

1982年にプロ野球西武ライオンズに入団。実働29年のプロ野球選手として、通算224勝。2015年からは福岡ソフトバンクホークスの監督に就任、7年間で5度の日本一を達成。また2020年には監督在任中ながら筑波大学大学院修士課程修了。2022年より同大学院の博士課程(スポーツ医学学位プログラム)に進学。子どもたちの検診や障害予防について研究を行う。

早朝プログラム 7月14日(木)

- バードウォッチング** | 軽井沢プリンスホテル近郊を散策し、野鳥観察を行います。案内役を交えた朝食会では、野鳥や軽井沢の自然の解説も行います。悪天候で野鳥観察ができない場合は、朝食会の実施となります。
- マインドフルネス** | 昨今、国内外の企業で広く取り入れられている「マインドフルネス」を屋外で行います。爽やかな軽井沢の朝の空気を感じながら瞑想をすることで、日々のストレスの軽減や集中力の強化を促します。悪天候の場合は宴会場内での実施となります。

OPTION PROGRAM **スポーツコミュニケーション** (有料によるご案内となります)

■ 講話「平和とスポーツ」

古来より、戦いをスポーツに置き換えることで争いをなくすという理念がありました。現在、紛争により世界中のあらゆる人々が大きな影響を受けるなか、平和とスポーツについてお話をいただきます。



ミズノ株式会社 相談役会長 水野 正人 氏

1943年兵庫県芦屋市生まれ。甲南大学経済学部卒。米国ウイスコンシン州カーセージカレッジ理学部卒。1966年に美津濃(ミズノ)株式会社入社。1988年に代表取締役社長、2006年に代表取締役会長就任。2011年に退任した後、2014年 相談役会長に就任し、現在に至る。元 東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会 副理事長・専務理事。

ゴルフラウンド 7月15日(金) 8:00 ~ 17:00

伝統ある軽井沢72ゴルフのコースでラウンドしながら、前日までのセミナー内容の振り返りや経営について意見交換をするなど、異業種他社の経営幹部との親密なコミュニケーションを創発し、さらなる人脈形成に繋がります。



参加・申込要項

開催日時 2022年7月13日(水)10:30 ▶ 14日(木)15:30
オプションプログラム(スポーツコミュニケーション): 2022年7月14日(木)16:00 ▶ 15日(金)17:00

参加対象 企業・団体のトップマネジメントおよび経営幹部の方々

会場 軽井沢プリンスホテル ウェスト
〒389-0193 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1016-87 TEL 0267-42-1111

参加費

先行割引価格 (2022年5月20日(金)お申し込み分まで)

賛助会員：187,000円／オプション込み 242,000円
一般会員：209,000円／オプション込み 264,000円

通常価格 (2022年5月21日(土)以降お申し込み)

賛助会員：220,000円／オプション込み 275,000円
一般会員：242,000円／オプション込み 297,000円

※宿泊費および朝食費は含まれておりません。ご宿泊につきましてはプログラムお申込みいただいた方へ6月上旬頃に「参加のしおり」とともに「軽井沢プリンスホテルのご案内」をお送りさせていただきます。軽井沢プリンスホテルご利用の方には、参加者特別料金がございますので、宿泊のご予約は案内に記載の特設サイトから直接お申込み下さいますようお願い申し上げます。

お申し込みについて セミナーホームページから必要事項をご入力の上、お申込みください。

軽井沢トップ



<https://www.jpc-net.jp/seminar/detail/002628.html>



歴史と伝統を基盤に、時代のさらに先へ。

進化し続ける「軽井沢トップ・マネジメント・セミナー」

1958年(昭和33年)8月11日から16日までの6日間にわたって「第1回 軽井沢トップ・マネジメント・セミナー」が開催されました。当時は、経団連、日商、経済同友会との共催でした。そうした中で日本生産性本部は、当時ビジネスの最先端をリードしていた米国に視察団を派遣する等して得た知見や、培ったネットワークで集積した情報を、セミナーを通じて広く日本の経営者に伝えることで、日本の経営力の強化に繋げて参りました。

時を経て、インターネットの普及やIT技術の進化によって、世界中の情報に誰もが容易にアクセスできる時代となった今、この軽井沢トップ・マネジメント・セミナーも2022年度より、新しいスタイルのセミナーへと進化させてまいります。講師からの情報提供の比率が高かったインプット中心の型式から、この時代だからこそ大切となる人と人との繋がりが生まれるセミナーとして、この夏に再起動いたします。

公益財団法人 日本生産性本部 軽井沢トップ・マネジメント・セミナー事務局

セミナー内容について 中村・三宅・高柳 セミナーのお申し込み 尾崎

〒102-8643 東京都千代田区平河町2-13-12 TEL 03-3511-4031 E-mail topseminar@jpc-net.jp